

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会
第3回競技・式典専門委員会 会議結果

- 1 開催日時 令和7年2月17日（月）10：00～11：25
- 2 場 所 野洲市役所本館2階 第5会議室
- 3 出席委員 8名（欠席なし）
- 4 内 容

【報告事項】

- わたSHIGA輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会 競技・式典専門委員会委員の変更
- わたSHIGA輝く国スポ野洲市開催競技の概要について
- SAGA2024 大会視察報告について（別冊資料）
- わたSHIGA輝く国スポ野洲市競技別リハーサル大会の開催結果について
⇒事務局より報告

【質疑】

- （委員）国スポチャンネルを決勝しか放送しないのは県の意向によるものか。
又、単独で実施する場合、費用はどの程度かかるのか。
- （事務局）佐賀国スポで全試合放送されたものの、決勝日以外の視聴実績が大きく伸びなかったことから、滋賀県では決勝日のみの放送とされた。全試合放送する場合は、保守のスタッフや機材も必要となるため、費用はかなりかかる。
- （委員）会期中、周辺施設や駅の装飾はどのような状況であったか。
- （事務局）佐賀県自体が車社会ということもあり、駅の利用はそこまで多くないことから、横断幕や看板等、最低限の設置となっていた。
- （委員）会場に行かなくても国スポの雰囲気を感じられるような装飾が重要と考える。
- （委員）御成りの有無が通知されるのはいつか。
- （事務局）公表出来るのは、8月から9月であり、それまでは県から小出しに情報提供があると認識している。県としては、各市町1回は御成りの機会を設定するということなので、その方針に従って準備をしている。
- （委員）市内小中学生に作成いただく応援フラッグはどのように設置するのか。
- （事務局）会場内観客席及び病院工事に伴う仮囲いに設置予定である。
- （委員）会場に来た方だけでなく、それ以外の施設にも設置して大会を盛り上げる必要がある。駅から会場までの道にはのぼり等を設置いただきたい。
- （委員）ボランティアの募集状況、今後の流れはどのように予定しているか。
- （事務局）県のゲームコンダクターを通じて募集しており、1月末時点で60名程度の応募がある。係や配置人数については検討中である。5月末に募集を締め切り、6月に活動希望調査を行う予定である。とりまとめた後配置を正式決定し、8月に研修会を実施予定である。
- （委員）御成りは御対象によっては盛り上がる。御対象が誰かわからないか。

(事務局) 現時点ではわからない。御対象によっては、警護のレベルも大きく異なると認識している。

(委員) 御成りがある大会を経験したことがあるが、手荷物検査だけでなく、観客席の動線も含めてかなり厳しい行動制限があった。一方、卓球・バスケットも屋内競技のため、屋外競技と比べて広範囲の制限にはならないのではないかと。

(事務局) 元総理大臣が襲撃を受けた事件等を契機に、要人の警備が厳重になってきている。持ち物や入退場の制限だけではなく、おもてなしの営業時間を制限することも検討している。

(委員) 仮囲いへの装飾はどのようにする予定か。

(事務局) 市内小中学生が描いたフラッグの転写と、滋賀県立大学と連携した装飾を予定している。

(委員) 会期中はシャトルバス等により、会場周辺道路の交通量が増える。周辺道路は道幅が狭いため、事故がないように注意願う。

(事務局) 警備員を配置し、事故がないよう交通整理したい。

【協議事項】

○わたしが輝く国スポ・障スポ野洲市炬火イベントの実施方針について

⇒事務局より説明

【質疑】

(委員) 日程は決まっているか。

(事務局) 時期は決まっているが、具体的な日程までは決まっていない。

(委員) 採火した火の展示は、市役所を想定しているのか。市内各施設を周ることまでは考えていないか。

(事務局) 市役所や会場となる総合体育館に展示する方向で考えている。

【全体を通した質疑】

(委員) バスケットリハ大会を運営した反省として、移動観覧席とアリーナにおける上下足の区別が曖昧になってしまっていた。明確に区切りをしておく必要があると考える。

(事務局) 卓球・バスケット共通の課題である。周知・明示を徹底したい。

(委員) 赤ちゃんのオムツ替え等のスペースが不足している。さらに、現代の社会情勢から鑑み、男子更衣室、男子トイレの近くにもオムツ替えスペースが必要である。一方で、施設自体に部屋数が少ないため、配置を工夫しなければならない。

(事務局) 限られた部屋・スペースの中で工夫が必要であるため、考えたい。

(委員) 多目的トイレの中にあるオムツ替えスペースがあるケースもあり、この場合は男女関係なく使用出来る。

(事務局) 大規模改修時に多目的トイレ内に設置済みであるが、数、大きさともに潤沢ではないため、再検証したい。

- (委員) 大会が近づいているにも関わらず、盛り上がらない。一般の方に関わっていただく機会が不足しているのでは。
- (事務局) 学校には学校訪問を行うことで周知啓発を行ったが、さらに市民に広く周知する必要がある。広報・ホームページ・SNSだけでなく、他の分野に会議・イベントに合わせて啓発したい。コミセンへのチラシ配布等も検討する。
受け身になっているため、仕掛けを行いたい。
- (委員) 練習会場となる学校に対し、体育館を装飾するよう依頼されてはどうか。
- (事務局) 学校観戦予定校には応援フラッグを作成いただく予定。
- (委員) 卓球リハーサル大会では、競技役員が3日間通しで従事出来る方が少なく、役職を掛け持ちする等工夫したが、業務内容の説明や引き継ぎ等苦慮した。本大会ではさらに多くの役員が必要となるため、大会を運営出来る人数の役員が集まるのか不安である。中高の先生をはじめ役員が参加出来るよう、市実行委員会として要請していただきたい。
- (事務局) 競技団体と十分に連携しながら準備して行きたい。
- (委員) 市の広報誌での告知予定は。
- (事務局) 年度早々のスポーツ鬼ごっこ、マリンスポーツフェスティバルの周知・募集を行うだけでなく、併せて本大会の周知を行う等、誌面の都合もあるが、毎号何らかの内容を掲載して行く予定である。